

<合衆のうた>

— 命 の 歌 —

一足早い桜便りに、アスファルトの片隅からタンポポ、はこべがまぶし気に青空を見上げていました。柔らかな優しい風が吹きわたりあたり一面春色です。

松中でも♪ランラン♪ルンルン♪と子ども達の足音が弾んでいます。「おはよう」で目覚め、張り切って「行ってきま～す」帰宅は「ただいま」とご機嫌です。そんな何気ない繰返しが子どもの育ちの礎です。

にぎやかなおしゃべり、ダメ!! ヤダ!! と譲れない自己主張、のどかな歌声、地団駄を踏む怒り、悔しさ、涙、そしてとびっきりの笑顔と其処比処から子ども達の育ちの芽が顔をのぞかせ「生命の歌」を響かせます。伸びゆく力を信じ“見ているヨ”、“聞いているヨ”とゆったり見守り、各々の子ども達の思いを受け止めてエ～ルを送ってまいります。

保護者の皆様のご理解、ご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。

